

9. 海外での施工報告（CM業務）－ Sunrise Japan Hospital Project

Report of Overseas Construction (Construction Management Work)

岡野 彦^{*1}



写真 施工中の現場状況

□ 目的（工事概要）

カンボジア王国における日系企業の病院建設の監理業務を行った。日本政府の「日本再興戦略」では新興国を中心に日本の医療拠点を2020年までに10ヶ所程度創設するとされており、本事業はこの医療拠点の1つに位置づけられる。また日本政府の「インフラシステム輸出戦略」において医療分野は新たなフロンティアとされており、日本の技術・ノウハウを活用した医療サービスを提供し、もって同国の疾病状況の改善に寄与するものである。なお施工者はカンボジアのLCC（リチュン）である。

□ 概要（課題とその対処）

監理業務の立場ではあったものの、現地ゼネコンの動きが悪かったため、監理の枠を飛び越え施工者及び設計者の業務までも見なければならなかった状況であった。その結果、工期は計画から1年近く延びた。

担当したCM業務の内容は下記のとおりである（ただし★印は本来の業務範囲外）。

- ・ Change Order（変更工事）の作成・発行 ・ Site Instruction（現場指示書）の作成・発行
- ・ 施工図・仕様書のチェック及び承認 ・ 現場巡視 ・ ゼネコンとの会議・打ち合わせ
- ・ 事業主との通例会議（現地会議、WEB会議） ・ 施工方法の助言
- ・ 工程管理への助言 ・ 見積りの査定 ・ 各検査立会い
- ★施工図、詳細図の作成 ★資材調達 ★設計業務 ★ダメチェック…etc

□ 結果

今回の経験を踏まえ、今後東南アジアで事業展開する上での留意点は大きく以下の5点と考えられる。

- ①固着概念の払拭、②工期・納期は輸入を前提に、③建築関連法規がない（カンボジアの場合）、④英語力をつける、⑤現地業者の育成。

* 1 東京本店建築部設備グループ